

2016年11月16日

静岡県教育委員会
教育長 木苗 直秀 様

静岡図書館友の会代表 田中 文雄
藤枝図書館友の会会長 南雲 初義
静岡県読み聞かせネットワーク会長 飯野紀代子

静岡県立図書館の新館建設についての要望書

日頃から図書館振興についてご理解とご尽力をいただき、感謝申し上げます。わたくしども3団体は、県民、市民の読書環境の充実と図書館の発展を願って活動をしています。図書館のあり方についても関心を寄せ続け、県立中央図書館が厳しい財政の中でもサービスの発展にご尽力してくださっていることをいつも大変感謝しています。2014年には、さらなる発展を願って県内関連団体と共に、添付のような提言書を知事と教育長あてに提出いたしました。幸いにも知事、教育長はじめ関係当局の皆様のご理解で、次年度には資料費が1,150万円増額、書庫整備費として1,100万円の予算がつけました。

しかしながら建物については、狭隘化・老朽化が激しく、バリアフリーやアクセスの観点からも課題が多いことを予てから危惧し、新館の建設を切望してまいりました。生涯学習の拠点であり、情報センターとしての役割をもつ図書館は、自治体の知的インフラであり、文化度のバロメーターともいえます。しかし現在の静岡県立中央図書館は、財政力のある静岡県としては、他県に比べ不十分なものであると思います。

わたくしどもは将来に禍根を残すことなく、「読書県しずおか」の名に恥じない新しい県立図書館の誕生を心より待ち望んでいます。

財政難の時代であっても、教育文化は後世の子どもに手渡したい知的財産であり、未来の静岡県の真の発展を約束するものです。是非とも、下記の項目について今後の静岡県立図書館建設計画に反映していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

- 1 県民の知る権利を支える豊富な資料。
- 2 県民への直接サービス機能と、市町立図書館へのサポート機能を十分に発揮できる規模。具体的には、少なくとも全国平均の12,000㎡を上回る面積。
- 3 専門性・経験を重視した十分な職員体制。

[賛同団体]

あさはた図書館市民の会 熱海読み聞かせの会 (一) 国際女性教育振興会静岡県
支部 有度ましろの会 掛川市子どもの読書活動を考える会 かしの木 学校図書館を考える
会・静岡 静岡おはなしの会 静岡子どもの本を読む会 島田図書館友の会 SWOSの会 トモ
エ文庫 西奈おはなしはらっぱの会 西奈図書館友の会「けやき」 日本学校図書館学会静岡県支
部 ぬまづ子どもの本を学ぶ会 ひろみ文庫 富士宮子どもと読書の会 富士宮子どもの本研究
会 北部図書館友の会 美和図書館友の会 やまんばの会 やなぎ文庫 遊本館